

第11回(平成26年度)協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業などの活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

あべ ひさし
阿部 寿 氏 (電気化学工業(株)大牟田工場)

化学分析方法規格および標準物質に係る標準化事業に対する貢献



阿部 寿氏は平成9年に電気化学工業(株)総合研究所に転籍以来、X線回折や蛍光X線分析に代表されるX線分析やICP発光分光分析法等の湿式分析、電子顕微鏡等の構造解析など幅広くセラミックスの分析・解析業務に携わり、各種のセラミックス製品の品質向上のための分析技術の開発に努めてきた。その精通した分析・解析知識より同19年からは課長職として工場全般の分析業務の管理を担っている。日本セラミックス協会原料部会(現資源・環境関連材料部会)化学分析分科会には同17年より参加し、培ってきた高度の化学分析技術を擁して3件の協会規格(JCRS)の作成ならびに共同実験に参画して、ファインセラミックス材料の化学分析技術の標準化に大きな役割を果たした。また、アルミナ微粉末、窒化けい素微粉末、および炭化けい素微粉末の協会認証標準物質作製のための共同実験に参画して信頼性の高い分析値を報告し、認証標準物質の開発と供給に大いに貢献した。以上のように、同氏は約10年間の長きにわたる活動を通じて、協会が推進する標準化事業(化学分析方法規格の標準化および標準物質の開発と供給)の推進に対して顕著な貢献をなしており、協会活動有功賞に値するものと

して推薦する。

略歴 昭和63年新潟大学理学部修士課程修了。同年電気化学工業(株)入社、渋川工場情報機材部、平成9年総合研究所分析・解析研究部、同14年大牟田工場環境保安・技術部分析・解析課、同19年同分析・解析課長。

たかぎ まさたか
高木 雅隆 氏 (日本電気硝子(株))

協会支部・部会における企画運営・交流促進等への貢献



高木雅隆氏は、平成17～26年の約9年余にわたり、関西支部の運営企画委員として、若手フォーラム、学術講演会、技術研修会などの行事を担当し、積極的に支部活動に従事した。若手フォーラムを担当した際には、協会賞受賞者を積極的に招くアイデアを提案し、現在もこの方法は引き継がれている。同20、21年には企画委員会事務局として、各行事の次年度の主担当に就任する副担当制度を導入し、スムーズな引き継ぎが行える現在の形を作った。また、同22、23年には、支部事務局を担当し膨大な事務作業をこなす一方で、各行事の事務局の負担を他へ分散させるなどの改善を実施した。同25年度には、主担当として、立命館大学放射光施設で技術研修会を開催し、各方面と交流を図った。企業からの委員として、産業界からセラミックス協会への要望を具体化する活動を提案・実施するとともに、ガラス関連の業界活動を通じて得た業界内の幅広い人脈も関西支部の行事実施や人的交流に積極的に生かしてきた。上記、高木氏による関西支部の運営企画活性化への貢献は、協会活動有功賞に値するものと考え、ここに推薦する。

略歴 昭和59年東京都立大学大学院工学研究科工業化学専攻修了。同年日本電気硝子(株)入社、現在に至る。